

令和7年度 行政評価の実施結果

1. 行政評価の目的

千曲市では、「①評価結果の公表による行政運営の透明性、信頼性の向上」「②経営感覚・コスト意識の醸成や事務事業の見直し・改善等による行政資源（職員、事業費、施設）の効果的で適正な配分」「③総合計画の進行管理と実施計画・予算への反映」「④職員の意識改革による地方分権への的確な対応」を目的に、平成19年度から実施しています。

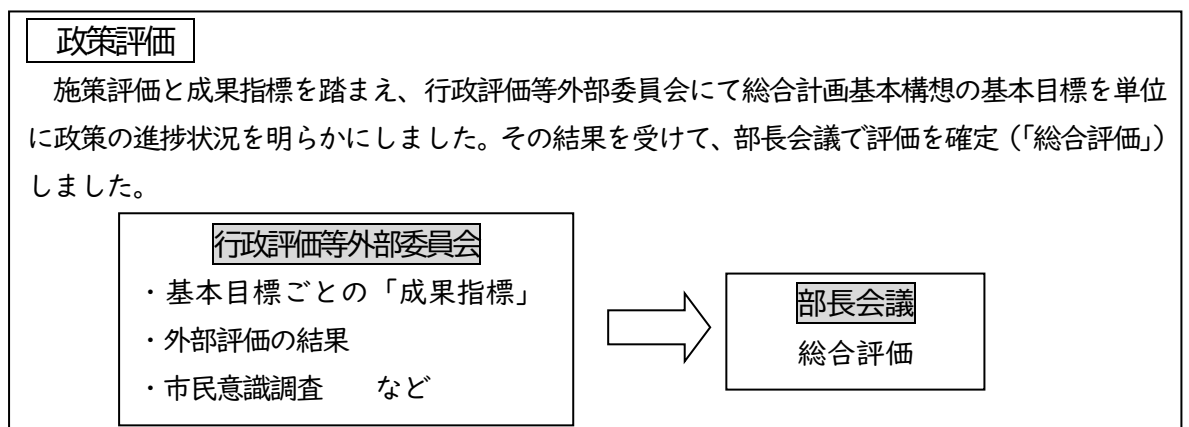
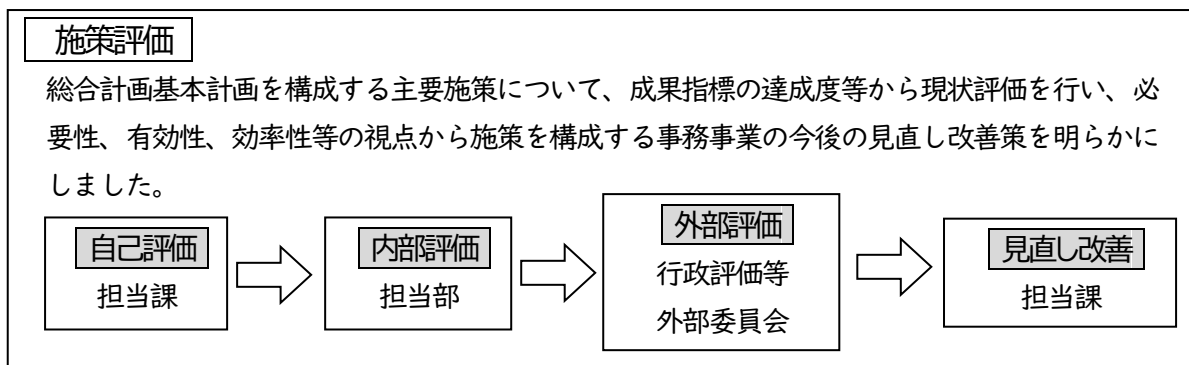
第三次千曲市総合計画に基づく行政評価を実施するにあたり、これまで外部評価委員のご意見や監査委員のご指摘を踏まえ、施策の成果や課題、改善点を明らかにした簡潔でわかりやすい評価方法へと見直しを行い、PDCAサイクルでいう「C（評価）」と「A（改善）」の部分の改善を図りました。このPDCAサイクルを適切に回すことにより、予算や行政資源の最適化を図っていきます。

2. 評価対象（施策評価対象事業は「令和7年度行政評価「施策評価表」」記載事業）

施策評価は、第三次千曲市総合計画を踏まえて決定した令和6年度「当初予算の概要」「施政方針」に掲げる事業、その他主要事業の計58事業を対象としました。

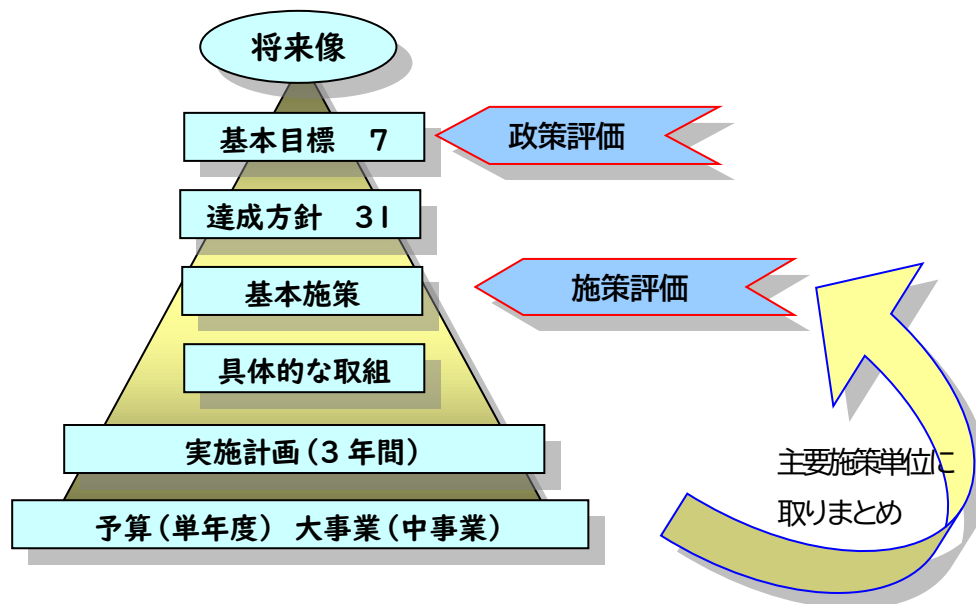
政策評価は、第三次千曲市総合計画の基本構想に掲げた基本目標7項目を評価の対象としました。

3. 評価手順



第三次千曲市総合計画・基本計画体系

《 人をてらす 人をはぐくむ 人がつながる 月の都 ～文化伝承創造都市・千曲～ 》



4. 施策評価

(1) 自己評価

基本計画の主要施策について、各担当課で施策評価表を用いた自己評価を行いました。

また、『成果指標』の達成状況から現状の評価を行い、事業の「必要性」「有効性」「効率性」などの観点から課題を総括し、今後の改善策を明らかにしました。

(2) 内部評価

担当部で自己評価を検証し、施策の進捗状況や課題などを踏まえ、期待と成果の観点から現状評価を行い、特筆すべき成果や課題、今後の改善点・方向性などについて総括しました。

(3) 外部評価（「別紙1」のとおり）

評価の客観性をより高めるため、行政評価等外部委員会において内部評価を検証しました。委員が選定した8事業について、施策の進捗状況や課題等から現状評価を行い、課題や今後の改善点・方向性等についての委員の意見を取りまとめました。

5. 政策評価

(1) 外部評価（「別紙 2」のとおり）

行政評価等外部委員会において、施策評価や成果指標などを踏まえ、第三次千曲市総合計画に掲げた基本目標ごとの進捗状況を明らかにし、委員の意見を取りまとめました。

(2) 総合評価

外部評価を踏まえて、部長会議において政策に対する現状評価を決定し、政策の進捗状況を確定しました。

6. 総合評価(令和7年 10 月9日部長会議)

- 第三次千曲市総合計画下 3 年目の行政評価において、達成率が前年比増となった指標は 48 指標（全体の 42%）、前年比同値が 28 指標（同 25%）、前年比減は 38 指標（同 33%）であった。また、全体の平均達成率は 2 年連続で前年を上回っていることから、これまでの取り組みが着実に成果に結びついているといえる。
- 各指標における目標達成までの進捗状況についても、「目標達成・きわめて順調・順調」が全体平均で 6 割を超え、比較的順調傾向にある。一方で、「やや低調・低調」の一部指標において進捗が非常に伸び悩んでいる状況もあることから、より一層の改善を要する。
- 達成率や進捗が順調な指標であっても、昨今の厳しい財政状況から今まで以上にエビデンスに基づいた効率的・効果的な事業の実施が求められる。
- 達成率が低い指標については、目標値を 5 年間の累計値を設定しているものもあることから、引き続き次年度以降の推移を注視し、さらに踏み込んだ考察や評価を行っていく。
- 今後も各事業において P D C A サイクルを常に意識し評価・改善を継続して行うとともに、市民感覚、民間感覚を大切に、スピード感をもって事業を遂行する。

7. 行政評価の活用

(1) P D C A サイクルの確立

P (計画) D (実行) C (評価) A (改善) サイクルを確立し、明らかになった事務事業の課題や見直し改善策を実施計画策定に反映するなど、着実な実施に努めます。

(2) 評価結果の公表

行政運営に対する透明性、信頼性を高めるため、庁舎窓口やホームページなどを通じて広く評価結果を公表します。